

**Reference 5 : JP Utility Model Publication (Kokai) No. 61-075209 U (1986)**

Application number: S59-161242

Date of filing: October 25, 1984

Date of publication of application : May 21, 1986

Applicant : POLA CHEM IND INC

Inventor : HIROSHI KATADA

Int .Cl.<sup>4</sup> : A45D 34/00

B65D 25/54

Title: COSMETIC CONTAINER

Summery:

A cosmetic container comprises a transparent container 1 and a colored resin layer 6 on the container 1, wherein the layer 6 comprises a window 5 to see through a back surface 4 of the container 1 (see fig 1).

# 公開実用 昭和61-75209

PA 03-579  
reference 5

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 昭61-75209

⑮ Int. Cl.<sup>4</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 昭和61年(1986)5月21日

A 45 D 34/00  
B 65 D 25/54

6671-3B  
7312-3E

審査請求 未請求 (全 頁)

⑭ 考案の名称 化粧品容器体

⑯ 実 願 昭59-161242

⑰ 出 願 昭59(1984)10月25日

⑱ 考 案 者 片 田 博 史 東京都品川区西五反田2-2-3 ポーラ五反田ビル内

⑲ 出 願 人 ポーラ化成工業株式会 静岡市弥生町648番地  
社

⑳ 代 理 人 弁理士 木下 憲男

## 明 細 書

### 1 考 案 の 名 称

化粧品容器体

### 2 実用新案登録請求の範囲

透明容器 1 の全表面 2 に表面壁 3 より背面壁 4 を透視できる広巾透視窓 5 を除き着色塗着層 6 を設けて化粧品容器 7 を形成し、且つ前記化粧品容器 7 に化粧水、乳液等の異つた種類の化粧品 8 を収納したことを特徴とした化粧品容器体。



### 3 考案の詳細な説明

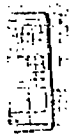
産業上の利用分野

この考案は使用便利な化粧品容器体に関するものである。

従来 of 技術

従来 of 化粧品は、その化粧液の入っている容器が、透明、半透明、不透明の如何を問わず、種々雑多な形状をしたものが多い。また化粧水、乳液

等化粧品別の容器だけでなく、同一種類の化粧品  
の容器に於いてさえも、その形状はばらばらで統  
一されていないものがほとんどであり、豊富な色  
といろいろのデザインで豪華に作られた化粧容器  
も多い。このことは化粧品の本来の目的である肌  
に合った化粧品、化粧の用途にあつた化粧品選び  
をする時に内部に入っている内容物よりも外部の  
化粧容器に重点をおいて選ばせ内部の化粧液それ  
自体は軽視されているという問題があることを示  
しているものである。



すなわちこれでは女性が化粧品の内容物にそつ  
て化粧するという本来の目的を、化粧品それ自体  
がはたしていないものであるといつても過言では  
ない。

何故ならこれは化粧容器が透明で内容の化粧液  
等がよく見えるものでも、容器の形状、色が多種  
多様ある為その化粧品の種別が判断しにくく、混

同じ、間違つた使用をするという虞があるといえ

るからである。

従来硝子を素材とした化粧品容器における着色

は硝子の生地に着色して着色する為、高熱によつ

て色かゝんで所望の着色が出来ずまだらな着色部

と無着色部が出来てまだらになり、色が熱に

よつて変色し、指定の色が出来ないなどの種々の

制約があつた為、採用できる色は限定されていた。

又更に硝子や樹脂に着色した化粧品容器は硝子

や樹脂素材に色をつける為その数量は最少数量が

何個以上というように1つの溶解釜の容量によつ

て決められていた等の問題点があつた。

#### 技術的課題

この考案は上記の問題点を解決したものであり、

使用便利な化粧品容器体を得ることを技術的課題


としたものである。

#### 技術的手段

上記の技術的手段を解決するために、この考案は、透明容器1の全表面2に表面壁3より背面壁4を透視できる広巾透視窓5を除き着色塗着層6を設けて化粧品容器7を形成し、且つ前記化粧品容器7に化粧水、乳液等の異った種類の化粧品8を収納したものである。

#### 実施例

この考案の実施例を図面につき説明すると次の通りである。



1は透明容器で合成樹脂又は硝子等の透明素材で形成すると共に全表面2に表面壁3より背面壁4を透視できる各種形状の広巾透視窓5を除き着色塗着層6を設けて化粧品容器7を形成したものであり、上部に流出口20を設けると共に該流出口20を開閉する栓体13を設け、螺合部16を介して開閉するようにしたものであり、栓体13も透明容器1の頂面14の形状、色彩に応じて着

色した合成樹脂素材等で蓋体15を形成し且つ表面には適宜の色彩を備えた前記着色塗着層6と同色又は異色とした蓋体着色層17を形成したものである。

又着色塗着層6は塗料を塗布して形成したものである。

又数個の化粧品容器7,7・・・の夫々に化粧品8である化粧水、乳液等の異つた第1化粧品21、第2化粧品9・・・を収納して第1化粧品収納体10、第2化粧品収納体11・・・を形成すると共に第1化粧品収納体10、第2化粧品収納体11・・・を一揃としてセット体12を形成することもできる。

又18はセット体12を収納する包装箱体であり、蓋板19を着脱できるようにしたものであり、且つ図示したセット体12は化粧品容器7を3個としたものであるが必ずしも3個に限るものでは

ない。

効 果

この考案は以上のような構成であり、化粧水、乳液等の化粧品容器7を透明容器1の全表面2に広巾透視窓5を除き、着色塗着層6を設けて、化粧品容器7の一面を透明にし、且つ荒性、油性、弱い肌等、女性の肌の性質に応じた化粧品別にその化粧液の入った化粧品容器7の着色塗着層6を、夫々肌の性質別に異なつた着色を施すことにより、外部からはつきりと肌の性質に応じた化粧液が入っているかがわかるため、女性が化粧品を選ぶ場合を考えると、内容物の成分により皮膚への効果例えば化粧の仕上り、光沢がある、光沢がない等を着色塗着層6の色を色別に異つた着色を施したことにより、又はホルモン入り栄養化粧品、荒性、油性によるきつぱりタイプ、しつとりタイプの化粧品乳液等女性の肌の性質に応じた化粧液体別に



その化粧液の入った化粧容器の着色層に異った着色を施したことにより、その化粧品が化粧品容器7の着色によつて容易に識別出来判断することが可能となり、化粧品容器7の着色塗着層6に施された色で適正な選択をすることができるものである。

又化粧の用途例えば漢方入りの化粧グループ等の成分によるグループ分けにも着色層を使用することができ、且つそのグループの中で内容物の色を着色することにより内容物が透明部分から透視できるため、女性が化粧品を選択する際、まずグループの色によりその化粧品の成分を見分け、しかるのちに肌別の化粧品等を広巾透視窓5より内容物の色により判別することができるものである。

又、使用時においても内部の化粧液がひと目でわかる為、使用前にいちいち化粧品容器7を取り上げて振り中身の有無を確かめる煩わしさもなく、

且つ化粧品名を読みとらなくとも、化粧品容器7  
の広巾透視窓5の部分を見るだけで化粧水か乳液  
かの区別ができ化粧を一層楽しいものにすることが  
できるものである。更に、内容量が一目瞭然で  
ある為、化粧水、乳液等化粧品の種類によつて使  
用量が異なつても、化粧前にどの種類の化粧品が  
切れているかという不安がなくなり、安心して化  
粧できるものである。

また使用量の少ない化粧液は、色見本等を備え  
ることにより、化粧品容器7の透明の窓から見え  
る化粧液の色の変化を見ていれば、変質のために  
使用不能となつているかを知つて変質した化粧品  
を知らずに使つて肌を荒らすことがない。

この考案は前記の色ものの制約を塗装という手段  
によつて解決したもので色も好みに応じ多種多様  
が可能であり、更にこの考案の様な塗装の場合は  
最少数量の制約も解消される為どんな少量の場合

更に容器の形状も1つの形状又は数種類の形状

に決めて統一しておけば金型も多種作らなくてよ

く量産出来る為その分能率が上り、品質管理も容

易であり價格的に安価に出来るものであり、且つ

広巾透視窓5の形状も塗装により容易で自由に形

成出来る為、例えば円形、四角、楕円形等の模様

形状が簡単に低價格で形成出来る為、美的効果上

も変化を出すことができ、又着色層の色彩と相ま

つて相乗的に外觀を得ることができるものである

など幾多の実用的効果を奏するものである。

#### 4 図面の簡単な説明

第1図は斜視図、第2図は一部切欠斜視図、第

3図はセット体の一部切欠斜視図、第4図は広巾

透視窓の形状を別にした他の実施例を示した斜視

図である。

1…透明容器 2…全表面 3…表面壁 4…

背面壁 5…広巾透視窓 6…着色塗着層 7…

化粧品容器 8…化粧品 9…第2化粧品 10  
…第1化粧品収納体 11…第2化粧品収納体  
12…セット体 13…栓体 14…頂面 15  
…蓋体 16…螺合部 17…蓋体着色層 18  
…包装箱体 19…蓋体 20…流出口 21…  
第1化粧品

実用新案登録出願人 ポーラ化成工業株式会社

代理人弁理士

木 下 憲 男



図 1

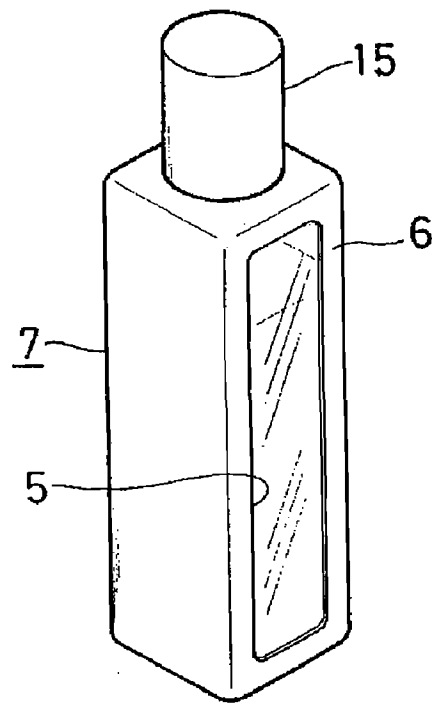
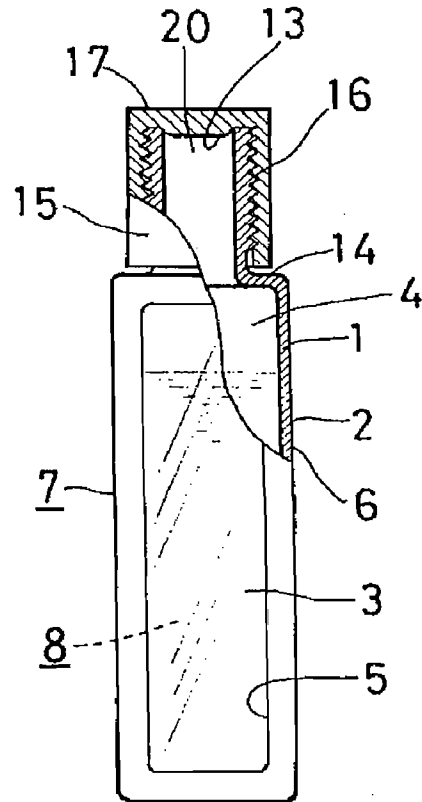
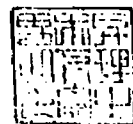


図 2



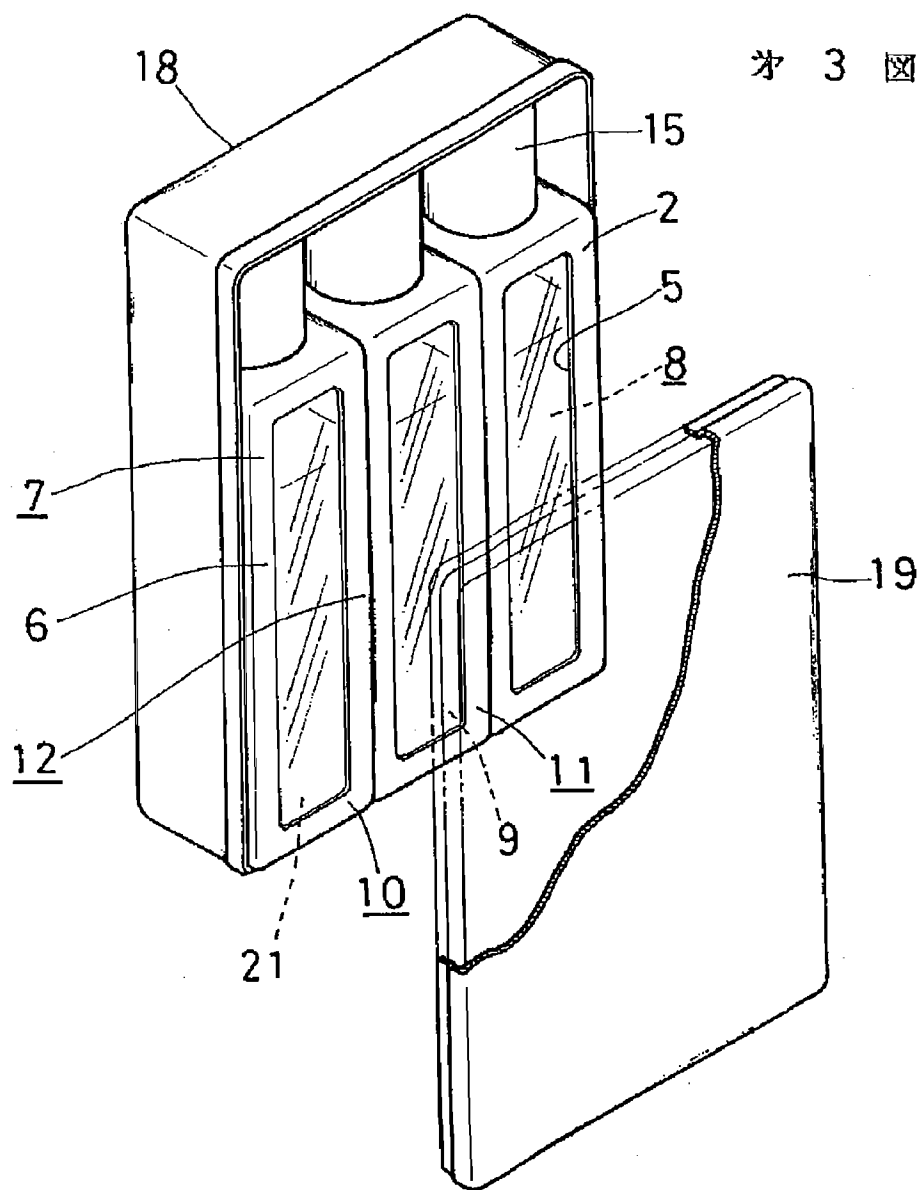
代理人 芳 理 士

木下 憲 男



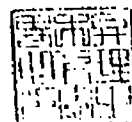
61-05-209

87



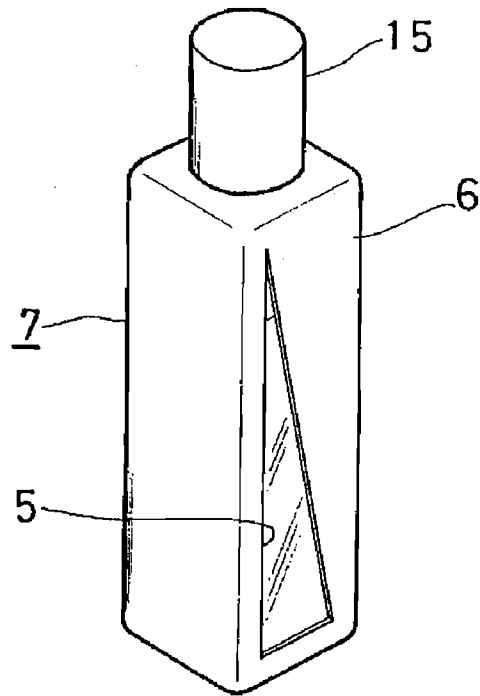
52

代理人 弁 理 士 木下 憲 男



61-75209

图 4 为



61

代理人 弁理士

木下 憲男



61-28115